

須永さとし

奮闘通信

2025年春号 県議会レポートvol.2

ごあいさつ

県議会議員としての活動を始めて、早くも2年が経とうとしています。市議の時とは少し勝手が違う県の各部局や関係機関とのやり取りにも大分慣れ、より広い視点で政策に取り組んでいます。

この度、県議会レポート Vol.2 をお届けいたします。本号では、一般質問や、私が所属する「健康福祉常任委員会」、「災害対応力強化に関する特別委員会」の活動についてご報告いたします。

高齢化が進む中、医療・福祉の充実は県民の安心に直結する課題です。医療提供体制の強化や介護支援の拡充を進め、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられる社会を目指します。また、近年の自然災害の増加を受け、防災インフラの整備や地域の防災力向上にも取り組んでいます。

さらに、物価高や人手不足に直面する中小企業・商工業者の支援、持続可能な農業の発展、エネルギーの安定供給など、経済と環境のバランスを考えた政策も重要です。県民の皆様が安心して暮らせる、幸福度の高い群馬を実現するため、皆様の声をしっかりお聞きし、声を届け、かたちにするために精一杯努力いたします。

所属委員会

- 健康福祉常任委員会 副委員長
- 災害対応力強化に関する特別委員会 委員
- 図書広報委員会 委員

図書広報委員会とは…

議会図書室の運営や、県民への議会広報を担当する委員会です。



探知犬の「はる」

探知犬

群馬県は「ペットとの共生推進」の一環として、犬の嗅覚を活用したがん探知研究に取り組んでいます。ラブラドル・レトリバーの「にこ」と「はる」を育成し、乳がん、膵臓がん、悪性リンパ腫の3種類のがんを探知する研究を進めています。



令和6年度ぐんまシチズンシップ・アカデミー

若者の政治への関心を高めるため、平成27年から「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」が開催されています。県内の大学生や短大生が県政や県議会について学び、議員と意見を交わす貴重な機会となっています。10年目を迎えた今回は、県内5大学から35名の学生が参加し、9月25日に開催されました。学生の皆さんは県議会本会議を傍聴し、議員との意見交換を通じて、政治や議会への理解を深められました。私も意見交換に参加し、学生の率直な意見や疑問に触れ、大変貴重な時間となりました。政治を難しく感じる方も多いですが、このような機会を通じて身近に感じていただければ幸いです。若い世代が政治に関心を持ち、自ら考え行動することが、より良い群馬の発展につながると期待しています。

GACHi(ガチ)

群馬県議会が実施する高校生向け意見交換事業「GACHi(群馬県議会アクティブ・シチズンシップ・ハイスクール)」です。

県議会議員が高校を訪問し、生徒と直接対話することで、政治への関心を高めることを目的としています。今年度、私は12月23日に県立富岡高校を訪問し、1年生約200人と交流しました。最初は緊張した様子の生徒もいましたが、次第に雰囲気や和らぎ、活発な意見交換が行われました。政治を身近に感じてもらう貴重な機会となり、私自身も若い世代の関心の高まりを実感しました。これからもこうした対話を大切に、政治に興味を持つ若者が増えるよう努めていきます。



2024年5月31日

一般質問に立ちました

令和6年第2回定例会動画



1. 「埴輪王国ぐんま」について

- ①「埴輪王国ぐんま」にかかる知事の思いについて
- ②「埴輪王国ぐんま」に係る県の取組について

Q これまでの実績と今後の取組について伺いたい。

A これまで、埴輪の人気投票「HANI-1 グランプリ」の開催、埴輪ゲーム「HANI- アプリ」の配信、埴輪ガイドブック「HANI- 本」の出版、さらに民間事業者と連携した商品開発などに取り組んできた。今後は、埴輪を巡るツアーの実施や子ども向けの企画を検討するとともに、今年の秋に東京国立博物館で開催される埴輪の特別展を「埴輪王国ぐんま」をPRする機会とし、インバウンド観光の促進にもつなげていきたい。

2. GunMaaS(グンマース)の推進について

- ①GunMaaS推進の現状と課題について
- ②日本版ライドシェアの過疎地などへの可能性について
- ③障害者への対応について
- ④GunMaaSの目指すところについて

3. 多文化共生を推進する中での外国人犯罪の現状等について

4. 警察官の働き方改革について

- ①県警察における働き方改革について
- ②休暇の取得状況等について

5. 水環境の保全について

- ①県内河川の水質と汚濁負荷の現状について
- ②県内地下水の水質について
- ③河川や地下水の水質改善対策について
- ④小規模事業者に対する指導について
- ⑤新たな技術の研究について

6. 農業水利施設の保全対策について

- ①基幹的な農業水利施設の保全対策について
- ②大正用水の保全対策について

7. 県道桐生伊勢崎線（西小保方町交差点）について

健康福祉常任委員会

消費者行政の推進、私学振興、少子化対策・保健医療対策の充実、社会福祉・社会保障の充実、食品の安全確保などに関すること。

月いち委員会の県内調査(令和6年8月23日)

群馬県動物愛護センター（佐波郡玉村町）

犬猫の保護・譲渡やペット相談を実施し、殺処分ゼロを目指す取組を推進。「飼い主のいない猫対策支援事業」や「くま犬猫パートナーシップ制度」など、新たな事業を展開しています。



群馬県発達障害者支援センター（前橋市）

発達障害のある人や家族への相談支援、発達・就労支援を実施。地域支援機関への助言や、ガイドブック作成・研修を通じた普及啓発にも取り組み、発達障害者支援の充実を図っています。

月いち委員会の県内調査(令和7年1月23日)

群馬県東部児童相談所（太田市）

児童相談や家庭・里親支援、虐待対応を行い、一時保護所を併設。里親制度の周知・拡充に取り組むほか、子どもの意見表明を支援するアドボカシー事業を実施し、児童福祉の充実を図っています。

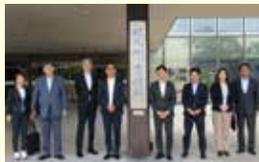
児童養護施設東光虹の家（太田市）

東毛地区唯一の児童養護施設で、ユニット制の家庭的環境を提供。地域小規模施設「こどもの家童夢」や里親支援機関「さとるーと」と連携し、母子支援や乳児院など多様な児童福祉施策を展開。

月いち委員会の県外調査(令和6年7月17日～19日)

九州大学病院子どものこころの診療部（福岡県福岡市東区）

子どもと家族のメンタルヘルス支援のための病院内外の連携体制や地域貢献活動の取組について。



北九州市役所（福岡県北九州市小倉北区）

「こどもまんなか社会」実現に向けた市民センターの開放、子ども食堂の支援、民間との連携施策について。

社会福祉法人北筑前福祉会（福岡県宗像市）

介護経営の大規模化・協働化に関する先進的な取組や管理部門の効率化について。

認定特定非営利活動法人SOS子どもの村JAPAN（福岡県福岡市西区）

家族と暮らせない子どもが家庭的環境で育つ支援を行う団体です。福岡市で「子どもの村福岡」を運営し、英国発の里親研修「フォスターリングチェンジ・プログラム」を導入。ショートステイを里親制度へ発展させる取組や、ヤングケアラー支援窓口の運営も実施し、子どもが安心して成長できる社会を目指しています。

災害対応力強化に関する特別委員会

災害時の対応強化に関すること、防災・減災に関すること、災害レジリエンスの強化に関すること、県土強靱化に関すること、そして食料確保に関すること。

災害レジリエンスとは…

自然災害などの危機に対し、社会や地域が迅速に対応・回復し、より強く再建する力のことで、防災・減災の取り組みが重要です。群馬県は、「災害レジリエンスNo.1」を目指しております。

県内調査(令和6年11月19日)

群馬県消防学校（前橋市）

消防職員や消防団員の教育訓練機関として設置され、施設や訓練設備を備え、防災教育や体験活動を実施する取組について。消防職員・消防団員の教育訓練施設を調査し、防災教育や体験活動について。



利根川（伊勢崎・玉村工区）

河川改修事業（伊勢崎市・玉村町）

「くま・県土整備プラン2020」に基づき、防災・減災対策を推進し、河道掘削や堤防整備を進め、水害リスクの軽減を図ることで、安全な県土の実現を目指す取組について。

県外調査(令和6年8月23日)

国土交通省北陸地方整備局富山防災センター（富山県富山市）

広域防災拠点機能、資機材備蓄、情報収集・発信、災害対策研修について。

富山県立山カルデラ砂防博物館（富山県中新川郡立山町）

立山砂防の歴史、土砂災害対策、展示・体験学習の取組について。

富山県広域消防防災センター・四季防災館（富山県富山市）

消防・防災訓練、災害時支援拠点、防災知識普及の取組について。

石川県土木部水道企業課・送水管耐震化推進室（石川県金沢市）

送水管耐震化、二系統化事業、能登半島地震の対応状況について。



県政をもっと身近に！

委員会の活動

